



三島の美しい風景を あなたの手で

全国花のまちづくりコンクール受賞者決定

～花づくりを楽しむために～
初めての園芸③
「クリスマスカラーを楽しむ」

赤や緑のクリスマスカラーをガーデニングに活かしてみませんか。赤と緑を基調に白や銀白色の草花を使って寄せ植えを作ります。初冬から春まで楽しめる少し寒さに強い草花を選びます。赤や白などの多くの色彩は花々で、緑や銀白色はコニファー（針葉樹）やシルバーリーフ（銀白色の葉を持つ植物）などの葉物類を使って表現します。また赤やピンクの実を付けた実物類を入れたり、ガーデンピックやリボンなどの小物類を飾りつけるとさらにクリスマス感を演出することができます。ポイントはちょっとお洒落な鉢を使って彩をあまり多くせず同じ色調で統一することです。

第30回全国花のまちづくりコンクール（全国応募総数1,690点）にて、三島市内で花壇活動をしている「つりがねにんじんクラブ」が、団体部門において、花のまちづくり優秀賞 推進協議会長賞を受賞しました。
《つりがねにんじんクラブ》

市内のパサディナタウン分譲地内で、道路沿い・児童公園・集会所・河川公園など、6箇所・120㎡で花壇づくりをしています。道路沿いの荒れた空き地の美化を目的に、花好きが集まって始まった花植え活動は2005年から16年間継続しており、通行人の目を楽しませて新たな地域交流を生むなど、花と緑のあるまちづくりに貢献しています。

手入れの行き届いた美しい花壇、緑豊かな町内環境にマッチした花壇を意識して花植えをしており、花壇それぞれに色合いや高さなどの組み合わせを変えて立体的な花壇を作っています。花苗は種からの育苗に注力し、植栽される花苗の半数を自家生産苗が占めています。工夫しながら新しい植物に挑戦している点や、厳しい天候の中でもよく手入れされた花壇が高く評価されました。



▲つりがねにんじんクラブの皆さん



▲受賞花壇



三島花の会では、花の似合うきれいなまちづくりを進めていますので、男性、女性を問わず会員を募集しています。



▲色とりどりの花でまちを美しく彩ります

三島花の会は1980年（昭和55年）に発足し今年で40年になります。市内3カ所の花壇管理が主な作業です。月1回程度の花柄摘みや草取り、年2回花の植え替えをします。その他に、三嶋大祭りの後と12月には街中の清掃作業をしています。お楽しみは花のイベントなどをめぐる視察旅行と専門の講師による花の講習会です。講習会では与えられた花を寄せ植えし、自宅に持ち帰って花と共に正月を迎えます。三島花の会の一番の課題は高齢化による会員の減少です。県東部の他の市町でも高齢化は同じですが、男性の会員が多くいるのが三島と異なる点です。

三島花の会会長 大村洋子さん

「私も参加しています」
「ガーデンシティ」

33



11月4日(水)



アメリカ男子バレーボールチーム監督と交流
 <<徳倉小学校>>

徳倉小の6年生が、東京2020オリンピック・パラリンピックとアメリカホストタウンの機運醸成を図ることを目的にアメリカ男子バレーボール代表チーム監督のジョン・スパロー氏とオンライン交流を実施しました。

10月27日(火)



GIGA スクール研修
 <<市役所中央町別館>>

市内21校の代表教員を対象に、市内小中学校に導入予定の授業支援ソフトのデモ体験が行われました。令和2年度中に予定されている児童・生徒1人1台のタブレット端末の導入に先駆けて実施されました。

11月10日(火)



みしまジュニアスポーツアカデミー第6期開講式
 <<市民体育館>>

みしまジュニアスポーツアカデミーは、全国大会や国際舞台で活躍できる選手を発掘・育成する取り組みです。第6期生には選考会に合格した22人が選ばれました。1年間の育成プログラム終了後は、競技団体による本格的なトレーニングを行う予定です。

11月7日(土)



晩秋の風物詩・箱根松並木のコモ巻き
 <<三島市内>>

コモ巻きは今年で51回目となり、三島環境緑化研究会に加入する市内の造園業者の皆さまにより、病害虫の駆除のために松の根本付近に二重折りのコモが1本ずつ固定されていきました。コモの取り外しは3月5日の啓蟄の日に行われる予定です。

市公式 Facebook ページでお届けしている記事から、話題のものを掲載しています。

